

# 4月号 2025年4月24日発行 No.263

# 運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や活動、経営に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

## 春のブロック総代会議を開催します

5月に各ブロックで春のブロック総代会議を開催します。総代の皆様にご出席いただく大事な会議の1つで、6月に開催する第4回通常総代会に向けて、とやま生協全体の2024年度のまとめや2025年度方針の理解を深めていただくために、総代会議案を事前に説明します。

また、ブロックの2024年度活動のふり返りを行い、2025年度の活動方針を決定(採決)していただきます。分散会では「2025年度取組みについて」をテーマに、グループになって様々なご意見をとやま生協役職員が直接お聞きします。

各ブロックの開催日・会場は以下の通りです。

| 開催日      | ブロック | 会場               |
|----------|------|------------------|
| 5月8日(木)  | 東部   | 中滑川複合施設メリカ 3階ホール |
| 5月12日(月) | 西部   | 西部センター 組合員ルーム    |
| 5月13日(火) | 富山   | ボルファートとやま 2階ホール  |

**開催時間 10:00～12:25**

駐車場や受付が込み合いますので、9:50までに各会場へお越しください。



分散会の様子  
昨年の春のブロック総代会議

出欠連絡表未提出の方は、ご連絡をおねがいします。

【総代任期1年のスケジュール】



今回開催の会議はこちら

### 【春のブロック総代会議 内容】

- 〈第1部〉
  - ブロック2024年度活動のまとめと2025年度活動方針
  - ブロック第2次中期3カ年計画
  - ブロックの地域区分理事候補者の報告
  - 第4回通常総代会議案事前説明
- 〈第2部〉
  - 分散会「2025年度取組みについて」



#### 富山ブロック

とやま生協 富山センター  
品川(しながわ)/今庄(いまじょう)まで  
電話 076-441-4761  
FAX 076-441-5360

#### 東部ブロック

とやま生協 東部センター  
村中(むらなか)/紙屋(かみや)まで  
電話 0765-77-0001  
FAX 0765-77-0003

#### 西部ブロック

とやま生協 西部センター  
市川(いちかわ)/田畑(たはた)まで  
電話 0766-63-8228  
FAX 0766-63-8221

### 【目次】

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| 1、春のブロック総代会議を開催します           | 表紙  |
| 2、輝くろべ 10周年誕生祭を開催しました        | P 2 |
| 3、とやまレインボーファーム サポーター募集のお知らせ  | P 2 |
| 4、理事会だより、経営実績報告              | P 3 |
| 5、重点課題で取り組んだこと               | P 3 |
| 6、氷見市の被災地支援ボランティアに14名が参加しました | P 4 |
| 7、2025年度は国連が定めた「国際協同組合年」です   | P 4 |

とやま生活協同組合

<https://www.toyama.coop/>  
富山市金屋555  
フリーダイヤル  
☎: 0120-555-192  
発行: 経営企画G



とやませいきょう

# 輝くろべ 10周年誕生祭を開催しました

小規模多機能型居宅介護施設「とやま生協 輝くろべ」(黒部市牧野750-1)が、2015年3月の開所から10年を迎えました。利用者さん、ご家族様、地域の方々に感謝の気持ちをお伝えする『開所10周年誕生祭』を3月29日(土)に開催しました。

当日は、よさこい踊りでオープニングを盛り上げていただいたり、音楽療法士の方にお越しいただき、『レッツエンジョイミュージック』と題して「早春賦」や「さくら」など春の歌をみんなで歌って楽しみました。また、東部ブロックの福祉委員会のメンバーの方々に運営を手伝っていただくなど、多くのボランティアの方々にご参加いただきました。

参加した輝くろべの利用者さん17名は、「贈る言葉」のメロディーに合わせてハンドベルを演奏したり、「マツケンサンバ」の曲に合わせてよさこいの鳴子を鳴らしたりと、歌や踊りで10周年の誕生祭を目一杯楽しんでおられました。



開会の挨拶



10年間の思い出のスライドショー観賞



『よさこい踊り』披露



『レッツエンジョイミュージック』



みんなで記念撮影



寺岡理事長、茨木常務理事も参加して  
ハンドベル演奏に挑戦

## とやまレインボーファーム サポーター募集のお知らせ

とやまレインボーファームは『食糧生産(農業)に挑戦し、地域と共に地産地消を推進、農業の振興と食料自給率を向上させ、組合員・地域の方々へ産直商品をお届けする』という趣旨の下、2022年に設立したとやま生協のグループ会社です。富山市大沢野地区に畑があり、化学肥料を使わない農業にこだわって、なす、ピーマン、ネギ等の野菜を栽培しています。

今年度からとやまレインボーファームの農作業を手伝っていただけるサポーターを募集します。サポートを通して、とやまレインボーファームの野菜の良さを知っていただき、その体験の中から農業の現状について理解を深めていただきます。そしてよりたくさんの「安全・安心野菜」を地域や組合員に提供していきたいと考えています。

### サポーターの活動内容

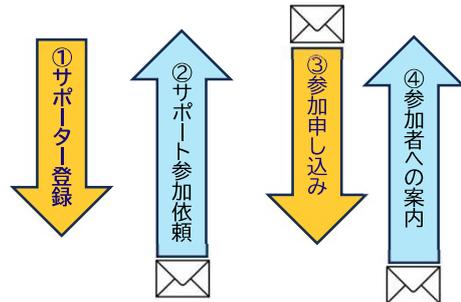
- 畑の土づくり
- 草取りなどの農作業



### 登録からサポートまでの流れ

農作業のご協力をお願いする際に、サポーターに作業参加募集のご案内をお送りします。ご都合がよろしければ、お手伝いをお願いします。

#### サポーター(登録者)



#### レインボーファーム(事務局)

ぜひサポーターへの登録をお願いします！  
お申し込みはこちらから→  
【お問い合わせ先】コールセンター 0120-555-192



## ◇話し合われたこと

### (承認事項)

- 2024年度2月度の事業・活動および経営報告の件
- 第2次中期3か年計画の件
  - 第2次中期計画 重点戦略課題に対する実施計画
- 2025年度方針の件
  - 2024年度経営見直し
  - 2025年度経営計画(案)
  - 2025年度実施計画(案)
- 2024年度第4四半期まとめと2025年度第1四半期方針
- 役員人事委員会答申
  - 役員補充選任候補者決定の件

### (協議事項)

- 2024年度剰余金処分の考え方
- 定款の一部変更の件

### (確認事項)

- 第4回通常総代会運営役員の件
- 2025年春のブロック総代会議開催の件
- 2024年度みなし自由脱退取り扱いの件
- 令和7年度射水市地域密着型サービス事業 予定者等公募申請の件
- 「とやま生協 2030環境・サステナビリティ政策」見直しの件
- 「SDGs宣言、2030環境・サステナビリティ政策」2024年度まとめと2025年度方針

## ◇2月度 事業・経営報告

### (全体経営報告)

- 総事業高は13億7,740万円で、予算比 98.9%、予算差-1,503万円です。
- 経常剰余金は-2,980万円で、予算差-1,418万円の実績です。

### (機関運営、組合員活動報告等)

- 「能登半島地震及び能登豪雨災害支援募金」から100万円を災害支援金として氷見市社会福祉協議会に贈呈しました。2月22日(土)には復興支援ボランティアに登録された組合員12名と職員6名が氷見市内でボランティア活動を行いました。
- 2月20日(木)に新店舗の起工式を執り行いました。
- 組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に103名が参加、27地域会で147名、せいきょうクラブ9回で56名の参加がありました。

## 重点課題で取り組んだこと

### ◆食の安全・安心、くらしの安心

### ユニセフ募金2024年度まとめと2025年度の取り組み

2024年度、とやま生協ではユニセフ支援として、「ユニセフ・ミャンマー指定募金」と「ガザ人道危機緊急募金」「ウクライナ緊急募金」を実施しました。お寄せいただいた募金額をご案内します。

募金期間：2024年3月1回～2025年2月4回  
募金人数：のべ2,566名(対面募金人数は未集計)

**募金総額：2,176,900円** たくさんのご支援・ご協力ありがとうございました。



#### 【募金内訳】

| 募金名称                     | 募金人数   | 募金額        |
|--------------------------|--------|------------|
| ミャンマー指定募金                | 1,147名 | 845,600円   |
| ガザ人道危機緊急募金<br>・ウクライナ緊急募金 | 1,419名 | 1,296,200円 |
| 対面募金<br>(ブロック祭りや本部募金箱)   | -      | 35,100円    |
| 計                        | 2,566名 | 2,176,900円 |

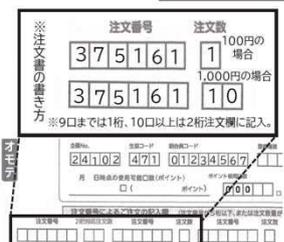


### ミャンマー地震緊急募金にご協力をお願いします

受付期間 2025年5月30日(金)まで

2025年3月28日午後0時50分(現地時間)、ミャンマーでM7.7の地震が発生しました。震源地は中部のマンダレー近郊で、100万人以上が住むミャンマー第二の都市です。ユニセフは地震発生直後から、被害状況の確認と人道支援活動の準備を始めています。1人でも多くの命を守るように、ユニセフの活動を支援するため「ユニセフミャンマー地震緊急募金」に取り組みます。ご協力よろしくお願いたします。受付期間終了後も、年間を通して「ミャンマー指定募金」を基本に取り組みます。

### 募金方法・注文番号 **375161**



- OCRマークシート(注文書)で募金できます。
- eフレズからも申し込みできます。
- お預かりした募金は税制控除対象とはなりません。
- 募金は商品代金と一緒に引き落としになります。

# 氷見市の被災地支援ボランティアに14名が参加しました



2月に引き続き、3月22(土)に能登半島地震復興支援ボランティアバスを運行しました。「能登半島地震及び豪雨被災地支援ボランティア事前登録者」によるボランティア活動で、今回は組合員9名と職員5名の計14名が参加しました。

主な活動は前回同様、公費解体が決定しているお宅の家財などの片付けでした。2つの班に分かれて2件のお宅の不要なものを分別し、災害ごみとして回収場所へ運ぶ作業を行いました。何度か片付けボランティアが活動を行っているお宅での作業で、今回の作業で2件とも片付けを終了することができました。

ボランティアセンターの方より「個人で行うよりも集団で実施する方が短時間で作業を終えられます。そのようなお宅がまだ残っており、みなさんのご協力が必要です。特に企業の方々の方が団体で来ていただくことが非常に助かっています。」と感謝の言葉をいただきました。



活動先での分別作業の様子↑↓



軽トラックで災害ゴミ回収場所へ運びます



今回参加のボランティアのみなさん

## 2025年度は国連が定めた「国際協同組合年」です

今年2025年は、国連の定めた「国際協同組合年」(IYC: International Year of Cooperatives)です。IYC2025は「協同組合はよりよい世界を築きます」がテーマです。

2012年に続いて2回目のIYCで、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価<sup>※</sup>し、その認知の向上と協同組合の振興のために決めました。

(<sup>※</sup>持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働き甲斐のある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加出来る社会づくりなど)

協同組合は、同じ願いを持つ人同士がつながりあい、事業を通じて願いを实践する組織です。組合員一人ひとりが主人公となり、民主的な参画を大切にしています。全国の生協では、「日本の生協の2030ビジョン」を掲げ、「つながる力で未来をつくる」を合言葉に、助け合いの組織として、誰もが笑顔で暮らすことができる持続可能な社会の実現を目指し、事業や活動に取り組んでいます。

とやま生協でも「2030ビジョン」を掲げ、『私たちは力を合わせ、誰も取り残さない、平和で心豊かな地域社会を創ります』の理念のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔で暮らすことができる持続可能な社会の実現を目指し、事業や活動に取り組んで参ります。

とやま生協の「2030ビジョン」→



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます